夕刊 常磐新聞
九月五日
發行兼編輯印刷人 伊藤隆次
福島縣平南町五九 發行所 常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月五十錢
廣告料 一行 五十錢
本社 小名濱町古港一
◆支局所在地◆
平町材木町二〇
四倉町停車場通り
湯本町新校舍前
植田町金畑五

縣下"空前の空の護り" 愈々五日後に實施

"濱三郡を甲區域として"

縣下總動員の防空演習は目睫の間にせまり各地豫行演習は好成績を收めつゝ實施されてゐるが殊に當濱三郡は國防上の必要性から甲區域となり他市町村より一層嚴密な管制が行はれる事とて各關係方面では萬遺漏なきを期して鋭意其の準備に當つてゐる

因に今回の防空演習に參加する陸軍部隊は步兵第廿九聯隊で他に飛行機六機、高射砲四門、照空隊四ヶ、高射機關銃隊、防空通信隊、防空監視隊衛戍病院救護班、憲兵隊等參加する縣下空前の大規模のものである

毒瓦斯の認識普及

石城郡藥劑師會、縣國防化學協會石城支部では目睫の間に迫つた防空演習に就て毒瓦斯に對する認識を一般民に徹底させ更にこれに對する防護の思想普及を計るため一兩日中郡下各種團体に對する宣傳ビラを配布する外要路々々に數百枚のビラを撒布する

防空演習打合

今五日午前九時より平町役場吏員一同會議室に參集防空演習に關する打ち合せを行つた

國防の第一線へ

小名濱町本年度入營兵決定

小名濱町本年度に於ける壯丁百五名の中から選ばれて國防の第一線に起つ健兒は左の十七名と決定、徴兵適齡未滿の志願者合格者五名を合せて二十二名である。名譽ある壯丁と兵科左の如し

(步兵) 下明神町鈴木章夫、竹町松原茂三郎、中明神町神崎貢、古港伊藤大治郎、(騎兵) 松の中小野岳良、(山砲兵) 古港小野保、(野砲兵) 本町草野大治郎、上町上遠野新平、(工兵)古港小野五郎、竹町小野武雄 (輜重特務兵) 中坪若松直吉 下町吉田三郎、(輜重兵) 古港川俣保太郎、同小野德太郎、野口德、(看護兵) 竹町椨川一 (水兵) 橫町佐川義一

側溝工事近く開始

定西地內の

小名濱町定西地內の小名濱平潟線縣道は從來下水道がないため排水が惡く雨天の際は宛然泥田と化す狀態なので側溝工事施工を地元より要請されてゐたが過般決定をみていよ／＼工事開始することゝなり昨四日申請中の同工事に使用するセメント三百三十六袋砂利三立方米の無償提供方を縣より小名濱町役場へ指令があつた、尚同工事區域は縣道筋南側高木武平氏方より元川まで二百七十六米北側吾妻染店より元川まで延長二百二十五米である

『敵機襲來!』

郡下のトップを切り 鹿島で防空豫行演習

鹿島村では防空演習に備へるため郡下のトップを切つて五日午後一時から各種團体に非常警告を發し『敵機襲來の!』假裝のもとに防空豫行演習を行つたが小學兒童までこれに參加し夜間は燈火管制を實施して非常な好成績を收めた

夏枯れも何のその 黑字の泉驛

濱大漁で思はぬ大增收

小名濱、江名、中之作、豊間の四漁港の關門に當る泉驛の八月中の貨物收入運賃は九千三百三十圓で昨年同期の六千八百三十圓に比し實にその三割に當る二千五百圓の增收を示してゐるが是は大敷網の稀有のブリ大漁と鰹大漁によるが更に最近沿岸近縣に勃興した突棒漁船のカヂキ鮪の水揚も原因して居り例年夏枯れに收入減を豫想されてゐただけ泉驛では思はぬ收入增加にホク／＼の態である

第十日目 四倉繭市

昨四日の四倉繭市取引相場は左の如く出廻り三二七貫高値四圓十三錢安値三圓六十錢買ナレ三圓八十錢掛目三二

雪辱の意氣に燃え

平局から二チーム出場 仙臺遞信局管內對抗庭球

仙臺遞信局主催管內各局對抗庭球大會は明六日日曜日に同局コートで開催されるが平局からは高久――吉田渡邊――阿保兩チーム出場することになり今五日上田主事引卒のもとに八時二十分平驛發で出發した

なほ同大會に於て平局は一昨年優勝し遞信大臣のカップを授與され昨年は準決勝で惜敗しただけに今度は『是非とも』と局長以下大いに張りこんでゐる

潮流異變の余慶

植田町小濱漁港は昭和七年以來七萬五千圓を投じ同町成瀨組の手で改修工事を續けて來たが高浪のため未曾有の難工事で當局も頭痛鉢卷の狀態、しかも地形上漂砂おびただしく船溜は五分の一の要をなさぬ始末でこれが善後策に腐心中のところ約一ヶ月前から潮流の關係で船溜內の漂砂が漸次港外遠く運びさられ現在では相當大型の漁船が自由に出入出來る樣になつたので過般來の災害復舊工事もこれで漸く奏効した譯だと當局並に請負者は勿論漁業者は大喜びである

この奇蹟的な好現象は今後の改修工事上非常に參考となるべくそれぞれ研究中であると共にこの現象がいつまで續くか頗る興味ある問題として注目されてゐる

本社の質問に對する 小名濱町有志の回答

一、小名濱町發展策に關する貴下の御意見
二、貴下の銷夏法

回答 小名濱町第二區長 馬上德十郎

昔しの戰爭の如く掛聲にて名乘り合ふ卽ち『遠からん者は音にもきけ近くんば寄つて目にも見よ我れこそは武藏の國の住人熊谷次郎丹治直實なり敵に背後を見せて落ち行くは卑怯なり組めや組め』など馬上豊かに鐵扇を開きて呼び返すなど個人の扱きかけ戰爭にては今日用を爲さぬと同樣營業の道も生活の資源を求むるにも協力でなければならぬ其れには各自長所々々を持ち合ひて欠陷を補し根强き團体を必要とする一家は卽ち國家の基、生活は總ての基因である、生活の潤澤ならぬ町村は兎角に人氣は惡るい惡るければ諸般の制度は紊れる、其れを大にすれば國家の滅亡を來すことになる、本町に於ては本町本然の國是を定め隣町村を率へて其範を示すと共に共存共榮大自然の恩澤を利用して進まねばならぬ、海の在る所は海により、河川山岳の場所は其れ相應に人の力に因て利用せらるゝのである本町は渺茫たる太平洋を擁し無限の魚族に富み其產額も尠くない、且つは東海岸航路の要津として商港の築造まで見るに至つたのである、一兩年の間には鐵道も布かれ海陸運輸の完備と共に我町の發展期して待つべきである、徒らに身邊の小利にくらみ蝸牛角上の爭鬪を以て人を損傷し人を嫉妬し甚だしきは人を陷いれんが爲に新聞に投書に有ゆる聲望を傷けんが爲に腐心して居る者も見へる、誠に唾棄すべき行爲で人間としての價値はあるまい、宜しく宇內の大勢を洞察し井蛙の考を去つて和合協力囑目せらるゝ本町の將來に資して貰ひたい。

其れから述べたいのは鐵道である此小名濱、平間の鐵道は時の町長鈴木榮氏彼の老軀を提げて席の溫まる暇もなく當時の町會議員殊に其主腦者飯塚榮一郎氏、小野現町長等の活躍振り共行動を現在に見屆けたる者等にありては思ひ半ばに過るの感がある。語り來れば實に山程で泣いたり笑つたり實に淚ぐましき行爲で一界一動汗と熱との結晶である若い者にも劣らぬ老町長の動作、飯塚町議の失敗每に憤慨する舉動等往時を追憶して見ると全く汗身の塊まりで、考へれば考へる程今昔の感に堪へぬのである現町長は尙若きが故に別としても二老の熱汗は一貫せる志操全く我が町の恩人であり町民諸氏は永久に感謝せねばならぬと思ふ、前町長は既に晩節を全ふしてあるにより是れより銅像でも建てられて町民敬仰の的となるに相違ないが、飯塚長老は比較的不運の人の樣に思ふ、若し隣町村の人で有つたならば其町村の町村長などは數期を務め上げたに相違ないが、本町にては其當番にならず實に氣の毒である、老いて益々旺自重せられんことを望む。

"むさゝびの章吉"こと 鈴木章の余罪續々發覺

平署では此程不良の一掃に着手

既報、去る二日午前二時半頃內鄕村宮字蛭子地內で同村宮澤坑夫齋藤辰正(三二)をコン棒で毆打縫合四針の傷害を負はせて平署に檢擧された內鄕村綴字一の坪居住平町東興會社電工、鈴木章(三二)は其の後引續き同署で取調中であるが、取調べの進行につれて續々と新事實が現はれ係官もあきれ返つてゐる

章は數年前茨城、福島二縣に亘る暴力窃盜團を組織し自ら親分を氣取つてゐたが、解散後は東京淺草に巣食ふ佐川一家の乾分となり『むさゝびの章吉』夜がらすの文治、花川あきら等の變名を使ひ分けて暴行、窃盜を働いてゐたものであると

炭礦街のダニ

既に十余名檢擧

平署では前記むさゝびの章吉檢擧を機として此種不良の一掃を決意し、昨報の如く五名を檢擧した外新に內鄕村宮澤職工高橋正二(二四)同白水無職鈴木三郎(三二)同內町大槻幸太郎(三二)住所不定廣川治平(三二)及び綴園部正記(一九)同安田梅吉(一八)の六名を留置取調べに汗だくになつてゐるがいづれも日本刀、匕首、コン棒等を所持し暴行、窃盜、ワイセツ行爲の限りを盡して周圍からは毛蟲の如く忌み嫌はれてゐたといふ

郡下大會へ出場

第三區豫選

來る十三日開催の郡下小學校籠球大會の第三方部豫選は今五日平第一、同第二、同第三、內鄕第二、飯野、小川、赤井第二、平窪、好間尋高の九校參加のもとに平第一(男子)同第二(女子)兩校々庭に開催されたが熱戰の末男子部では第三(尋)第一(高) 女子部では第三(尋)第二(高)が優勝し大會出場權を獲得した

桑原書記遠藤屬來平

東北振興事務局桑原書記官本縣庶務課遠藤屬の兩氏は今五日夜來平住吉屋本店に一泊明六日磐炭、小名濱商港等を視察する

平保線區長 宇都宮へ榮轉

平保線區長沼尾後之助氏は今五日宇都宮保線區長に榮轉赴任した

防空演習とカチ合 諏訪神社例祭延期

小名濱町鄕社諏訪神社の祭典は來る十一、十二の兩日に相當してゐるが今年は縣下一帶に亘つて行はれる防空大演習とカチ合ふので一日を繰延べ十二日を宵祭十三日が本祭と決定した、因に同祭典には古典的な獅子舞奉納等の催物あり尙中町部落でも大々的な催しをすべく目下計畫中である

三校長出席

東北六縣北海道教育聯合會大會は來る七、八日米澤市で開催されるが石城郡教育會より篠山平第一、千葉平第二、西山小名濱の三校長が出席し提出議題『靑年學校專任敎育俸給金額を國庫支辯とせられん事を其の筋に建議するの件』は西山校長が說明に當る筈

風情もゆかしく

中秋の星空の下に 愈々今夜流燈會

古い傳統を持つ鎌田の燈籠流しはいよ／＼今五日中秋の夜空の下に風情床しく催される既報の如く一時は財源難から中止さへ傳へられた程であるが地元靑年團を始め商工會、靑年團本部、町主腦部の努力の結果例年に優る華々しさを豫想されてゐる。一等の觀物は何といつても一發八十兩の大仕掛花火であらう主なるものは八時の『オリムピック』と『五輪旗』九時の『防空演習』などであるが、其間斷なく打ち上げられる筈なほ本年は鎌田橋が危險なので白土八幡社裏で行はれることになつた

鹿島神社例祭

小名濱町宇松の中に鎭座の鹿島神社の例祭は來る九日舊廿四日執行されるが花相撲其他の催しあり天候さへ良ければ大漁豐作を祝ふ人々によつて例年以上の賑ひを豫想されてる

濱だより

(九月四日)
かつを 五八〇本 六〇—八〇
かじき 一五本 四〇—七〇

◇天氣豫報◇
今晚 北東ノ風曇驟雨模樣
明日 南東ノ風晴レ時々曇
平均溫度 二二度二分

◇小名濱干滿時間◇ (九月六日)
滿潮(前 七•三五 後 六•三五) 干潮(前 一•〇〇 後 〇•四五)

平野菜市場況 (九月五日)

品名	數量	高値	安値
南瓜	貫	六	四
長ナス	百ケ	一五	一〇
丸ナス	百ケ	五〇	二五
玉菜	貫	二五	二〇
玉葱	貫	二五	
ナタ豆	貫	一五	三
西瓜	貫	三	八
トマト	百ケ	二〇	一五
枝豆	貫	一七	一五
人參	貫	一五	三
ゴボウ	貫	三	二〇

草野醫院
外科內科花柳病科レントゲン科
▼入院隨意▲
小名濱町中島 電話一七三番

金時バー自慢の江戶前御壽し
大衆向食堂 金時バー
●出前迅速●
小名濱町中島通り 電話十二番

銘酒の御用命は
由良之助
榮川
由良之助支店 榮川濱三郡特約店
永山支店
小名濱町上町 電話一四〇番

〔外務職員優遇〕
富國徴兵保險相互會社
參事 山野邊良吉
小名濱町橋本一〇 電話六十八番(呼)

農村を明くするものは
——日食の魚粉末(フイッシュミール)
飼料として……肥料として
有効適切は一度御試驗の人は保証す
御申越次第見本持參社員が御說明申上ます
日本食料工業株式會社
小名濱出張所

店員募集
年齡十五才より廿五才迄の壯健なる男子に限る
小名濱町古港
綠屋醬油店
電話二十九番

御中元の贈答品は
体裁の良い 受けて良い商品切手壹圓ヨリ
金成屋洋品店
小名濱町中島 電話一五三番

朝湯

清見茂

朝湯はよくすいてゐた。私と一人の男と、いたづらさうな子供が三人だけだつた。男は所きらはず一生懸命に身體を洗つてゐた。

何分經つたか、私は湯を汲まうとひよつとふり向くと、今まで銘々に遊んでゐた子供達がひとゝこに集まつてグラグラ笑つてゐた。

どうやら前の男を笑つてゐるらしい。其の笑ひ方が何だか意味あり氣な制へ切れぬ笑ひである。私もつい好奇心に驅られて温泉湯につかる眞似をしてちらつと笑ひの對象物になつてゐる其の男の顔を見やつた。男は盲目である。そうして血眼になつて（眼が開いてゐたらこう言ふ可きところだが）何物かを探し求めてゐる恰好だ。私は始め何を探してゐるのか分らなかつたと其の男から約一間程の所にセルロイドの青い石鹼函が一つ轉がつてゐる。これで子供が何故グラ〳〵笑つてゐるかをはつきりと知つた。そして子供達の罪のない惡戲としては少し過ぎてゐるのにいさゝか憤慨した（取つてやらう）こう思つた私だつたが、もう一度其の男の顔を見直した時思はずふき出して仕舞つた。笑ふんじやなかつたんだけれど、其の顔がね、男の無言の中に泣き出しさうな顔をして唯一つの石鹼函を探すのにあせつてゐるその醜くい顔、其の顔がね、私を笑はせるのだ。

何もかも忘れてしばし子供達と一緒になつてつり込まれながら笑つてゐた私の前に何時の間には入つて來たか一人の少年（確か青年團の幹事をしてゐるＫ君）三人の子供達に向き直つて『馬鹿つ』鋭どい怒聲を發したかと思ふとつか〳〵と石鹼函を拾つて來て、四十男なるが故に聲を出すのも遠慮して相變らず醜い顔をひきつりながら探し求めてゐる男に握らせた。其の時盲目の男は始めて口をきいた。

『有難たう御座います。どうも有難たう御座います石鹼函は何時も右手に置くんですが、少し流されるとこんな始末なんです、貴方が拾つて下さいませんでしたらもう一時間も探す所でした。どうも有難たう御座いました』さういつてむせぶ樣な微笑をたゝへて何べんも何べんも叮嚀に頭を下げた三人の子供はＫの顔を見て急に眞劍な態度になつて一樣に口をつむつてしまつた。

今まで醜くい〳〵と思つてゐた男の顔がこんなにも美しい微笑に包まれた。こう思つた時子供と一緒になつて笑ひ崩れた私の心が今更ながら憎らしかつた。そしてあの石鹼函を求める醜くい顔よりもつと〳〵醜くかつたわたしの心がはつきりと讀めた。

眞晝

小牧貞光

熱い風か砂塵を撒き乍ら
俺の頭を叩いていつた。
俺は思念に疲れて、自分の脈搏が遠く聞えるやうに感じた。

ふと小川を覗くご水兵帽の目茶々々になつたのがやけたゞれたやうにくさり切つた土手へ喰ひ込んでゐた、あの帽子は誰が捨てたのだらう。新しい時には、はなされない程に重寳がられたものだらう、古びてしまへばこんなにも造作なく捨てられてしまふのか。帽子に恩念はないが、それをぢつと見つめてゐる俺の頭の中は、生活や自分をかけ離れた色々の謎で一杯だ。

俺はガラ〳〵になつた樣な頭を抱へて、川から眞直ぐに、ちつぽけな事務所に歸つた。

夏

水原昌子

小年は朝風の窓で口笛を鳴らし
童女は大空に花紛の樣な憧憬を投げる。
ひまはりがさんさんと太陽を吸つて光ると
さて十九の私はとろりと想出がなつかしくなり。
晝寢の腦髓は
まつくろな蛇になつて窓をぬけ出し
花莖にぬれた寶玉のやうに
輝きながらするするとよぢて。
失つたをさないたましひを花の中までさがしに行く

離愁

大森正雄

雨にぬれたその姿は見えなくとも――
小驛を離るゝ君のあしおとに
私は茫然と立ち竦んでゐる

殘された雛鳥のやうに。
君はぐんぐんと幾百の郷愁をのせて
月の田園を
月の海邊を
夜明けの空を
馳りつゞけるだらう。

腐れた材木の沈みかゝつてゐる川に
月が冷たく笑はない時
君はぐんぐん私の旅愁を
踏み越え踏み越え
涯しもない旅を
馳りつゞけてゐるだらう

每度ありがたう御座居ます
又どうぞ
平田町 松のすし
モシモシは一九六番

サ！は太與　亂れ飛ぶ

投稿歡迎

▽○○○の幼な馴染のＴさん、殿方などはあられもない女の惡口などはお止し遊ばせ。とんでもない迷惑をうけて泣く女がなきにしもあらずです。少なくともあたしは今まであなたをお兄さまの樣な氣持でお慕ひいたしてをりましたのに。それとも、あなたのあんな罵倒に甘んじなければならない程の私は惡い女なのでせうか。（Ｓ子）

短歌

佐々木立夫

○このごろは友とも會はず一人ゐる金のありなば山に行きたし

○失ひし戀を悲しくおもう日は町をあるきてなぐさむ我は

○舊友に町に會ひしがわがここたのしからざりそのまゝ別れぬ

向井正治

○しろじろと岬のさきの波見えて朝は冷たき磯砂の風

○病みつきて既に幾年今日も亦砂濱の上の日影にまうぶ

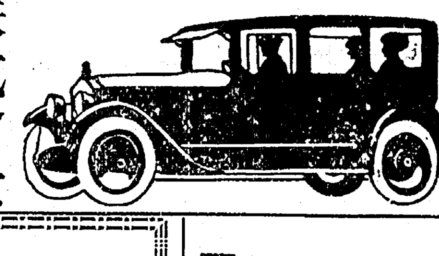
紙幣を拾ふ

大西定

雨上りで驛の構内はジメ〳〵してゐた。私は今迄抱えてゐた洋傘を手に持ちかえてコツ〳〵と地面を突きながら歩いた。時は丁度夕暮で附近の店や會社の退出時なので歸りを急ぐ通勤者たちがあとからあとから引きも切らずに改札口の方に押し寄せてゐた。私はその中に交つて歩いてゐるのであるが、別に先を急ぐ氣にもなれなかつた。歸つたとて待つてゐるものは孤獨な下宿の部屋ばかりであつたから、然し私が改札口に五六間手前まで行くとふと眼の前に何か落ちてゐた。四角にたゝまれた小さな紙片が、ぬら〳〵した三和土の上に吸ひ付いてゐるのであるが、それを見た時、私はギクッとした。直感的にそれが紙幣であることを知つたからである。私はその前に立ち止つてあたりを見廻したが、誰も私に注意してゐる者は居なかつた。みんなスレ〳〵に私の側を通り過ぎて、私の立止つた理由を考へてゐるひまはなかつた、その時私はこの大勢の人通りの中で、私だけが發かれてある紙幣を見付けたといふ優越感で一杯であつた。それを拾ひ上げながら私は妙にチグハグな氣持になつた。それがある定つた價値を持つた自分の所有物のやうに思へるかと思ふと何んでもない紙きれのやうな氣もした。そして自分の手に持たれてゐる物と自分とは遠い〳〵距離を感ずるかと思ふと、またいきなりそれは自分の胸に飛び込んできた。やがて私は歩き出した。驛員が鋏を使つてゐる改札口への距離を少しでも伸ばさうと私はゆつくり歩いた。その時の私の心の中は、もはやそれを見付けた時、それを拾ひ上げた時のやうな昂奮はなかつた。

電車に乘つた時の私は何かしら大きな罪の償をした時の樣な一種の快さを持つて窓外の景色を眺めてゐた。そして、若しあの紙幣を着服してゐたら、今頃はもつと混亂した氣持でゐたかも知れないと思ふと、自分の良心が幾分でも強かつたことが、嬉しく思はれた。

貨物の御用は
磐城海岸軌道線指定
江 小名濱運送株式會社 電話一〇六番
江名濱出張所 電話一二八
泉驛出張所 電話五番



各種ゴム靴、ゴム合羽、ゴム前掛
革靴、運動靴、草履製造
たぬき印 三島印 ゴム工業所特約店
小島履物店
福島縣小名濱町

ホーライ

人氣投票第一等の
千枝子孃

技術流行型揃安價敏速に御注文に應ずる
小松洋服店
皇恩會
平町才槌小路十二
小松正治

文藝浪曲界に斷然光る
今日の話題『父歸る』を以て天下に風靡せる
天光軒満月
九月六日一夜限り
◎前賣劵有り團体申込に應じます
小名濱 磐城座

鈴木眼科醫院
本院 植田町
分院 小名濱町古港
◈看護婦募集◈

耳。鼻。咽。喉。
毎週月、水、金、午后五時出診
小名濱分院
小名濱町中町小學校前
大和田耳鼻咽喉科醫院
本院平南町（電一七〇）

合理化せる文化的……
セメント瓦製造販賣……
高木惣治
小名濱町西町

鐵道省指定記念に
こたき ゆきの
皆様の足賃を無くする
無料大衆サービス!!!
◆乘合自動車は……
ユモトー小名濱間無料サービス乘車券を御利用下さい
乘車券差上所 ユモト驛前（湯本自動車商會 矢內自動車部） 小名濱（馬目自動車部 西野屋輪店）
◆貸切自動車は……
ユモトー小名濱間五人樣以上無料サービスいたします
（サービス料金はお勘定よりお引き致します）
△そうしますと其の他の方面からの皆様にはどういふ事になるか？平町方面からはコタキまでの料金二圓のうち一圓はコタキサービスになり結局お一人二十錢づゝ、泉驛、江名町方面からも二十錢づゝですむことになります
△尚御宴會は從前通り二十人樣より平、植田までお迎ひ自動車を差上げて居りますからこれまた合せてごし〳〵御利用下さる樣御願申上ます
（御宴會は前以つて電話にて御申込下されば一層便宜です）
小瀧鑛泉
鐵道省指定旅館 瀧の湯
電話【小名濱】一〇三番

大正火災保險株式會社
三井生命保險株式會社 代理店
鑛油部
魚市場
磐城水産工業株式會社
小名濱町築港内
電話一四四番

レストラン
サロン
食事。喫茶。酒場を兼ねた
平田町 電三五二

薄利多賣主義
建築用材 製板
內山材木店
小名濱町後